

オンライン請求マニュアル

平成 20 年 9 月

明石市医師会医療情報委員会

平成20年9月 初版発行

1. オンライン請求とは

ネットワーク回線で結び、レセプト電算処理システムにおける診療報酬等の請求データ（レセプトデータ）をオンラインで受け渡す仕組みを整備したシステムです。下の図のように、病院と診療所、レセコン導入の有無により時期は異なりますが、矢印の先端に記された期日以降はオンライン請求以外は認められない予定です。ほとんどの医療機関は平成22年度4月からオンライン請求に限定されます。

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度~
医 科							
病 院①	400床以上+レセ電有			→	(20.4.1)		
	400床以上+文字対応						
病 院②	400床未満+レセ電有			→	(21.4.1)		
	400床未満+文字対応						
病 院③	レセコン有+レセ電無し+文字対応無し				→	(22.4.1)	
病 院④	レセコン無 (⑤を除く)					→	(23.4.1)
病 院⑤	レセコン無+少数該当+既設						→
診療所①	レセコン有				→	(22.4.1)	
診療所②	レセコン無 (③を除く)					→	(23.4.1)
診療所③	レセコン無+少数該当+既設						→

2. オンライン請求に必要な機器とシステム

- レセコン（フロッピー提出可能なもの）
- オンライン請求専用パソコン（フロッピーディスク付き）
 - OSとブラウザは以下のいずれか
 - (1) Windows Vista + Internet Explorer7
 - (2) Windows XP sp2 + Internet Explorer6.0 sp2
 - (3) Windows 2000 sp4 + Internet Explorer5.5 sp2
 - (4) Linux Debian GNU + Mozilla Firefox 2.0
 - (5) Linux Turbolinux 10 Desktop + Mozilla Firefox 2.0
- ネットワーク回線の接続（ISDN 電話回線もしくはインターネット）
 - 以下のいずれか
 - (1) ISDN電話回線
 - (2) Bフレッツ、フレッツ・光プレミアムによる IP-VPN接続 (NTT)
 - (3) フレッツADSLによる IP-VPN接続 (NTT)
 - (4) 上記以外のインターネット回線（※ IPsec-IKEの契約が必要）
- 安全対策の規定の策定
 - 厚生労働省のガイドラインに沿ったもの
- 届出書類関係

「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関する届出」 → 支払基金と国保連合会へ提出
 「電子証明書（発行・失効）依頼書」 → 支払基金へ提出
 ※各種届出様式は支払基金のホームページでダウンロード可能です。

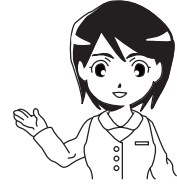
3. レセプトオンラインへの流れと初期費用

オンライン化のためには、初期費用と定期的な維持費用が発生します。
そのうちの初期費用については以下のとおりです。

手書き紙レセプトで提出している ⇒ **STEP 1**へ

レセコン導入済、紙レセプトで提出⇒ **STEP 2**へ

レセコン導入、フロッピー等で提出⇒ **STEP 3**へ



※STEP 2をとばして最初からオンライン化することも可能です。

STEP 1 レセコン導入

約100万円～約300万円

手書きレセプト



レセコン導入

どのメーカーのレセコンを導入するかによって導入費用は異なりますが、約100万円から300万円で導入できます。

STEP 2 レセ電算（フロッピー提出）

0円～約30万円

レセコン+紙



レセ電算導入

1. レセプトを電算化する
2. 傷病名、診療行為、医薬品を標準コード化する
3. フロッピーディスク等による電子レセプトで請求する。

※現在使用中のレセコンに電算処理システムを導入するには約30万円費用を要します。
今後購入のレセコン、ORCAなどはシステム導入済みで経費は不要！

STEP 3 オンライン請求

4,000円～約20万円

レセ電算



オンライン化

1. オンライン請求に必要なパソコンとネットワーク回線の準備
2. オンライン請求届出提出
3. 設定ツール、手順書等が届く
4. 設定作業
5. 本請求開始

4. オンライン化にかかる概算費用

● 初期費用・・・4,000円から約20万円

電子証明書発行料	4,000円
ネットワーク通信回線設置費用	1～3万円※
パソコン（オンライン請求用）	5～15万円※
周辺機器（フロッピードライブ等）	1～2万円※
プリンター（必須ではないがあると便利）	1～4万円

● 維持費用・・・数千円～10万円/年

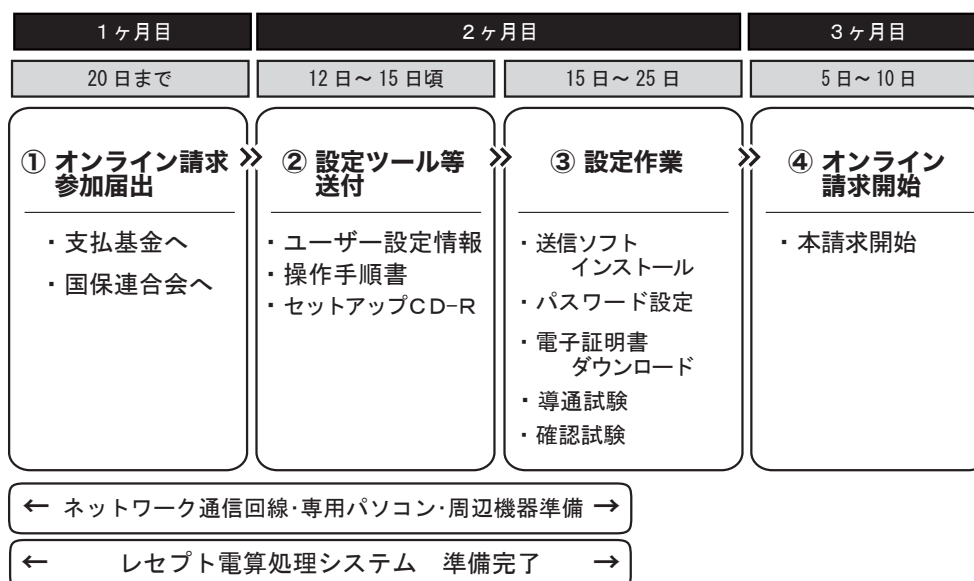
ネットワーク回線費用 （電話回線もしくはインターネット）	2,000円～6,000円/月※
IPsec+IKE維持費用 （既設インターネット回線でIPsec+IKE利用の場合のみ）	約1,890円～3,000円/月
パソコンセキュリティー対策	約315円/月～約8,000円/年※
電子証明書更新料	4,000円/3年

※の項目に関しては既存のものがあればそのまま利用することも可能です。

5. オンライン請求までのスケジュール

オンライン請求に参加する場合は、毎月20日までに「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関する届出」等を支払基金と国保連合会に提出します。

支払基金より翌月15日までに設定ツール等が届きますので、オンライン請求用パソコンに送信用ソフトウェアをインストールし電子証明書をダウンロードすると、届け出た翌々月よりオンライン請求が開始できます。



6. オンライン請求のメリット



● 受付時間の延長

休日を含めて毎月5日～9日までは21時、10日は24時まで請求が可能となります。

● レセプトの事前チェック

受付・事務点検ASPの利用により、不備のあるレセプトデータを事前にチェックし、修正のうえ、当月のうちに請求することができます。

● 安全性の確保

既存の請求では、搬送時における破損や紛失などの問題が起ころいきましたが、セキュリティを確保したネットワーク回線を使用することから安全に請求できます。

● 審査後の増減点連絡書をダウンロードできる

送付される増減点連絡書については、従前からの紙による連絡書と併せてCSV形式のデータを提供されます。

● 確認試験を月に何度でも実施できる

オンライン請求の確認試験は、実施できる期間中は何度でも確認試験を実施することができます。

(社保：5日～月末日 国保：15日～25日)

7. セキュリティについて



● ネットワーク通信回線

「閉域IP網を利用したIP-VPN接続」、「ISDN回線を利用したダイヤルアップ接続」、
又は「IPsecとIKEを組み合わせたインターネット接続」を使用

● 電子証明書による相手認証

● データの暗号化及び厳格なユーザ管理

以上を行い、データの滅失・漏洩及び改ざん防止を図るとともに、
ウイルス対策に万全な措置を講じ安全性を確保されています。

8. オンライン請求できないレセプト業務



平成20年9月現在

現段階でオンライン請求できない業務は以下のとおりです。

いずれも紙媒体の提出で10日必着となっています。

支払基金

➡ 返戻のみ

国保連合会

➡ 返戻、総括表、福祉医療費請求書



オンライン請求への道

～ あるドクターの体験記 ～



～STEP 1 日医標準レセプトORCA導入～

- 9月某日 レセプトオンライン化へ対応するため、日医標準レセプトORCA導入を決意。業者選定のため、兵庫県医師会推薦ベンダー(ORCA取扱業者)の各社に連絡して資料を請求。
- 9月10日 検討の結果、A社と契約することに。他社より費用はやや高めであったが、値段よりも営業所が近隣にあって、サポート体制が充実していることが選択の決め手となった。古いレセコンからのデータ移行作業なども含め契約から稼働開始までに最低でも1～2ヶ月以上みておく必要があるとのこと。11月請求分からの日標準レセプトでの保険請求開始をめざしての導入スケジュールを決定。
- 10月22日 A社にORCAの端末を設置してもらう。この日は午後休診であったが、スタッフに残ってもらってインストラクターから使い方の講習。あらかじめ、古いレセコンからのデータを抽出してもらい、今までの患者の頭書き情報はORCAに移行できた。古いレセコンでよく使ったセットや頻用病名は同じものを登録してもらった。もともとレセコンの経験があれば、数時間の講習で基本的な日常業務はほぼマスターできるようである。
- 10月23日 10月請求分まで今までのレセコンでおこなうので、23日～31日までの間は今までのレセコンで日常業務をおこないながら、合間をみてスタッフにORCAでも同じ内容の入力をしてもらい、慣れてもらうようにした。こういった並行運用が本番に向けて習熟するのに一番役に立つとのこと。
- 11月1日 本日よりORCAのみでの運用開始。初日は丸1日インストラクターが立ち会い、安心してスタートできた。

～STEP 2 レセ電算(フロッピー提出)～

- 11月10日 「光ディスク等を用いた費用の請求に関する届出」と「光ディスク等を用いた費用の請求に係る確認試験依頼書」を支払基金と国保に郵送。書類は支払基金と国保に連絡して取り寄せたが、支払基金のホームページからもダウンロード可能。確認試験をしてもらうためには前月20日までに書類を提出しないといけないので要注意。申請からフロッピー提出までには最低3ヶ月みておくようにとアドバイスを受ける。
- 11月30日 診療終了後にORCAで月末集計。ORCAではレセプト病名漏れがよくありそうな薬剤や検査の適応病名などをチェックマスタに登録しておけば、データチェックができるので便利。レセプト点検が楽になった。
- 12月2日 レセプト点検はORCAの画面で印刷せずに一枚一枚画面で確認していくこともできるが、今回はORCA導入後はじめてのレセ提出ということもあり、データチェック後に一度全て印刷し、今までどおり目視でのチェックをおこなった。あらかじめデータチェック機能でピックアップできているので、ほとんど手直しなしに、早々に編綴作業をおこないレセ完成。残業も大幅に減って大助かりである。
- 12月9日 電子媒体(フロッピー)でのレセ提出に向けて、11月診療分からさっそく紙レセプトと一緒にフロッピーも作成して、確認試験として提出。
- 12月29日 年末最終日の診察を終え、月末集計。月の途中で何度かデータチェックをおこなっていたので、最終日の修正はほとんどなく終了。今回はレセ印刷もおこなわなかったため、総括表の出力と編綴、捺印のみで早々に年末年始休みに入ることができた。

1月21日 フロッピー提出の確認試験で11月請求分も12月請求分も問題なしとの連絡。1月請求分から紙レセプトをやめてフロッピーでの請求に切り替えることにする。

2月3日 1月分請求分のレセプト作成。フロッピー提出になっても総括表や返戻は紙媒体のままである。支払基金には「光ディスク等送付書」国保には「総括表」をフロッピーと合わせて提出するので運送会社との契約はそのまま続行し回収にきてもらう。無事提出できたか少々不安であったが、基金や国保からも特別連絡はなく、無事にいったようである。

～STEP 3 オンライン請求～

2月12日 レセ電算(フロッピー提出)が無事スタートできたので、続いてオンライン請求のための準備へ。オンライン請求用のパソコンが1台必要。安価なもので良いが安全のため請求業務以外で使わないことを勧められる。設置・設定は自分でもできないことはないらしいが専門的知識が必要で時間も手間もかかるので、A社に相談、依頼してパソコンを1台準備してもらうことにする。接続回線はNTTフレッツ光、ADSL、ISDN、IPsec+IKEなどいくつかの方法があるようだが、A社の勧めもあり、現在使っているKオプティコムEO光のインターネット回線をそのまま利用できて、新たに電話回線を引いたりする必要のないIPsec+IKE方式を選択した。「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関する届出」と「電子証明書(発行・失効)依頼書」を支払基金および国保に提出した。

3月25日 支払基金からCD-Rと設定の手順書が届いていたが、こちらの内容はさっぱりチンプンカンプン。IPsec+IKE方式で出張サポートのある業者を利用したので、苦労せずに接続できたが、自分でやっていたら・・・??

4月3日 オンライン請求専用パソコンでパスワードを入力して、オンライン請求画面に接続。ORCAで作成したフロッピーを挿入してデータ送信。送ってから数分以内でエラーがないかどうかチェックできる。保険者番号、本人・家族の間違いなどもチェックされるので、ORCAで直して再度フロッピーを作成してオンライン送信。エラーがないことを確認すればそのまま「確定」ボタンを押して請求が確定。ついにオンライン請求に成功!

完

一言メッセージ・・・

決意してから半年以上かかりました。これから始める皆さまには、できるだけ早く取りかかるとをお勧めします!





Q1. 現在、紙レセプトを提出しているが、オンライン請求は可能か？

制度上は可能ですが、電子レセプトの記録条件が適合しているかの確認試験を実施してから、オンライン請求に移行することをお勧めします。

Q2. オンライン請求を行う場合、新しいソフトウェアは必要か？

オンライン請求を行う上で必要なソフトウェアは、支払基金から無償で配布されます。

Q3. オンライン請求のためだけに新しいパソコンを用意する必要があるか？

OS、ブラウザの環境が整っておれば、既存のパソコンで対応できます。
その際は、ネットワーク回線などもつなぐ必要があります。

Q4. OS、ブラウザの環境が限定されているが、MacOS の対応は？

Windows のバージョンアップについては対応が予定されていますが「MacOS」については、現在未定です。

Q5. 送信（受信）途中で、回線が途切れた場合のデータはどうなるのか？

データ送信中に回線が途切れた場合はデータが抹消されますので、回線復旧後再度、送信を行う必要があります。

Q6. 返戻レセプトはオンラインで返ってくるのか？

現行どおり、紙レセプトでの返戻となります。「返戻」及び「再請求」のオンライン化は、平成 20 年度以降の実現に向けて、現在検討されています。



●レセプトのオンライン請求に関するお問い合わせ

社会保険診療報酬支払基金 本部 情報管理部

TEL：03-3591-7116・7117（直通）

平日 9～12時、13～17時

土・日・祝及び年末年始（12月29日から1月3日）を除く。

●ネットワーク回線の準備方法及び接続方法に関する問合せ

ネットワークサポートデスク

TEL：0120-220-571

平日 9～17時

土・日・祝及び年末年始（12月29日から1月3日）を除く。

※ただし、5～10日は土・日・祝も対応